

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ川崎		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2025年12月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>児童発達支援管理責任者と保護者の関係が良好。信頼感を得られている。</p> <p>[保護者意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の希望を踏まえて計画を作成頂けている。</li> <li>・明確なアドバイスを頂けて参考になっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参加型の懇談会で保護者悩みを共有し、相談に対して助言を実施している。</li> <li>・保護者からの相談に対して家族支援を実施している。</li> <li>・個別支援計画の面談時間を長めに対応している(約1時間)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参加型イベントの参加人数が少ないため、気軽に参加出来る環境作りやイベントを検討する。</li> <li>・当日出席していない児童の保護者も参加しやすい内容を検討する。</li> <li>・児童発達支援管理責任者 基礎、補足研修受講済の職員が増えたため、OJTを継続的に実施する。</li> </ul>
2	<p>イベントや教室の生活を児童がとても楽しんでくれている。</p> <p>[保護者意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月楽しみながら行える活動プログラムになっている。</li> <li>・楽しいイベントが多く、子どもが喜んでます。</li> <li>・大変満足です。先生方も子どもを大切に思ってくれている事がよくわかります。</li> <li>・学年があがり滞在時間が短くなってきましたがどのイベントも楽しく参加出来ている様子です。</li> <li>・いつも色々なイベントを考えて下さりありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日に児童の好きな外食、外出、買い物、調理イベントを多く設定している。</li> <li>・イベントカレンダーに児童の希望を取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童からやりたい事をヒアリングして、カレンダーに反映する。</li> <li>・保護者から面談時に保護者要望や自宅での児童の様子についてヒアリングして、カレンダーに反映する。</li> </ul>
3	<p>通常の支援や専門支援の内容について保護者に喜んでもらえている。信頼感を得られている。</p> <p>[保護者意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別にお手伝いを組み込んで頂き本人にとっても良い継続プログラムになっている。</li> <li>・専門知識をお持ちの先生が多く安心しておまかせしています。</li> <li>・支援プログラムの継続で日々の生活において出来る事が増えた。</li> <li>・職員の皆様が大変だとは思いますが、楽しみながら支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画作成時、専門支援計画書も一緒に更新、保護者に展開しているため、保護者要望や児童発達支援管理責任者の考えをリアルタイムで反映している。</li> <li>・専門支援員同士のコミュニケーションの機会が多い。ワークスで支援でやりたい事や児童の様子を共有するグループラインを作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門支援員だけでなく、他職員も一緒に成長するために支援プログラムを検討してもらったり、支援に参加してもらう。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>生活空間が清潔で心地よく過ごす事が出来る環境が整っていない。</p> <p>[保護者意見]</p> <p>事情はあってしょうがないと思いますが、壁紙はきれいなほうがよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁紙をちぎったり、穴をあけてしまう児童もいるため早急な対応が困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・破つてよい紙、よくない紙の分別がわかるようになる支援。声掛け。</li> <li>・施設の所有物を大切に扱う事が出来るようになるための支援、声掛け。</li> <li>・壁紙ではなく、塗装への切り替え。</li> </ul>
2	<p>生活空間が子どもにわかりやすい構造になっていない。</p> <p>荷物が混在する事で忘れ物が多くなったり、他児童に荷物を触られてしまう事がある。</p> <p>[保護者意見]</p> <p>ランドセルなど個人の持ち物が他の子供が触れる状態であるので改善してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物棚のサイズが小さく、床に荷物を置く事がある。</li> <li>・個々で保管出来る環境になっていないため、児童間で荷物が混在してしまう事がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚の変更。</li> <li>・個々で荷物管理出来る環境作り。</li> </ul>
3	<p>保護者への申し送り時、伝達が不足してしまう事がある。</p> <p>[保護者意見]</p> <p>問い合わせてもわからない事がある。</p> <p>ケガなしといわれ確認すると、傷や出血がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生時の児童の状況確認が不十分。</li> <li>・発見者と送迎者への伝達がうまくいっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生時確認しなければならない項目の明確化および研修の実施。</li> <li>・事故発生時職員間で伝達しなければならない内容の明確化および環境の構築、研修の実施。</li> </ul>

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ川崎

公表日 2026年3月10日

利用児童数 0

回収数 0

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。						
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。						
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	トイロ川崎
------	-------

公表日 2026年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	状況を見ながら修繕対応していきたい。	壁面が破損しているため修繕が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1		相談室があるが、来客や既に誰かが使用していると1人になれない。 1人用テントやパーテーション等の使用で複数に対応出来ると助かる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13		終礼→その他の内容をLINE WORKSに別でグループを作って共有している。 勤務日でない日もどんな事があったか今度試していきたい内容がわかる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1		まだ自身がどこで確認出来るか知らないだけかもしれない。周知に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		専門支援員だけでなく、他職員も一緒に成長するために支援プログラムを検討してもらったり、支援に参加してもらおう。	フォーマルのアセスメントを把握できていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13			

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		連携しているように見られる。その場で臨機応変に専門支援しているイメージ。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		複数人での読み合わせ、現在の状況のすり合わせが行われている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	9	別のトイロと交流イベントを実施。	外出イベントを通して地域の中で他のこどもと触れ合う機会を増やす。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	1		保護者参加型のイベントをしているが参加者が少ない。進んで参加出来るような改善が必要。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	1		保護者参加型のイベントをしているが参加者が少ない。 進んで参加出来るような改善が必要。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	9		地域で開かれた行事（お祭り、地域イベントなど）に参加するイベントを設定していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1		マニュアルだけでなく自然災害マニュアルおよび持ち出し一覧、備蓄の有無確認もあると助かる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	1		避難訓練はある。職員間で何が必要かすり合わせする必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13				